

<目的> 日常的なつきあいや集団活動の中で、自分の役回りや他者からの期待によって異なった振舞いをすることがある。この振舞い方が生活観であるが、このように何等かの融通をきかしているということになると、一人一人の生活観はある広がりを持っているということになる。この融通性—生活観の広がりがレパートリーであり、本報告は、農家婦人の持っている生活観はどういった特徴を持っているかを明らかにするものである。

<方法> レパートリーを明らかにするため、基準構造で用いた調査表に、15の条件を設定して3回に分けて回答を得た。15の条件は図に示してある。条件毎の回答が得られたところで、基準構造で求められたカテゴリースコアにより対象者のサンプルスコアを求め、このスコアからサンプルの構造図を描いて個人の広がりを検討した。なお調査対象者は70名である。

<結果> 図に示したものは、レパートリーの1例である。これは多元的な構造をひとりで表現しているタイプであるが、その一方で3回にわたる現在の気持ちの回答は安定している。この他、軸の左右あるいは上下のどちらかに偏っているタイプや、ある象限に固まるタイプなどが見いだされた。

